

# 真名川ダム・九頭竜ダム 水源地域ビジョンの推進

## 国土交通省の取り組み

大野市水循環基本計画における該当施策の分類



流域マネジメントの推進



水循環に関わる人材の育成と水文化の継承



災害や気候変動、地下水障害等への対応

### 施策一覧表

1. 流域マネジメントの推進	
(1) 貯留・涵養機能の維持・向上	
ア. 森林	
1	スマート林業の導入等による作業の省力化・効率化
2	森林経営管理制度を活用した森林整備率の向上
3	林業従事者育成支援
4	福井県水源涵養地域保全条例及び大野市森・水保全条例の適正な運用
5	民間主導の森林保全活動の推進
6	未利用間伐材等の有効活用
イ. 河川	
7	河川維持流量に係る関係者間の情報共有と共通認識化
8	河岸かく乱など河川環境改善に向けた取り組みの継続
9	真名川における自然出水再現放流の実施
10	清滝川の土砂の浚渫など河川環境の改善
11	赤根川の治水対策における地下水の河川への流出抑制に配慮した整備手法の検討
ウ. 農地	
12	水田湛水の継続実施及び面積拡充等の検討
13	農地における水の貯留・涵養機能の向上に向けた検討
14	越前おおの型食・農業・農村ビジョンの推進
15	認定農業者などの担い手への農地集約・集積や経営体質の強化
16	農業振興地域整備計画の適正運用
17	農業水利施設の長寿命化対策及び共同活動による農地維持作業の促進
(2) 水資源の適正かつ有効な利用の促進	
ア. 適切な水利用	
18	年間を通じた節水行動と節水機器の普及啓発
19	地下水水位表示板やHP等を通じた啓発
20	水資源の保全と利用の調和を図るための指針作成
21	水利用の合理化の検討
22	道路消雪施設から機械除雪への転換
23	慣行水利権から許可水利権への変更の推進
24	雨水の有効利用と貯留浸透の推進

イ. 安定した水供給の確保	
25	大野市営水道事業基本計画に基づいた施設整備等の推進
26	水道水質の管理徹底
27	連携した漏水対応
ウ. 水辺空間の活用と適正管理	
28	環境基本計画に基づいた生物多様性の保全
29	水辺空間の有効利用と適正管理
30	内水面漁業の振興
31	水辺の楽校の活用
32	真名川サイクリングコースの活用
33	河川上流部地域における体験型観光等の推進
エ. 水のみえるまちづくり等の推進	
34	水のみえる施設の適切な維持管理と水を感じることができ環境づくり
35	ごみ捨て防止への意識啓発活動
36	グリーンインフラの活用推進
オ. 公共用水域の水質保全	
37	河川水質の監視
38	公共下水道の加入と合併処理浄化槽の設置
39	有害物質使用事業所への立入調査や水質監視の実施
40	窒素負荷低減対策の実施
41	海洋プラスチック問題につながる河川等でのごみの不法投棄への対応
(3) 健全な水循環を通じた地域活性化の推進	
42	水のがっこうを拠点とした地域活性化の推進
43	湧水地などを巡る散策ルートの設定
44	水をテーマにした観光の推進
45	SNS等を活用した計画的な広報展開
46	名水を活用した特産品のブランディング
47	特産品のプロモーション活動の推進
48	道の駅「越前おおの 荒島の郷」やECサイトを活用した特産品の販売促進
49	市のイメージに合った企業の誘致

# 施策一覧表



2. 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承	
(1) 健全な水循環に関する教育、人材育成及び研究の推進	
1	水循環に関する教育や啓発活動の継続的な実施
2	教育現場における水に関する講座の実施
3	「水の本」を使用した出張授業の実施
4	幼少期から水について考え学べる機会の創出
5	水の支援を通じて得た成果による水への感謝の気持ちの醸成
6	民間活動による水のがっこうの活用
7	水に関する書籍・資料等の収集・共有
8	本市をフィールドにした大学や国の研究機関が行う水に関する研究の促進
9	シンポジウム等の開催による情報発信
10	ニーズに合った市民向け講座の企画と運営
11	水環境の重要性についての理解と関心を深め認知度を向上させるための行事等の開催
12	市民団体等による自発的な取り組みの実施
(2) 水文化の保全と継承	
13	蓄積された調査研究成果の整理集積・共有
14	写真や地図など様々な資料のデジタルアーカイブ化
15	市内外に向けた水文化の積極的な情報発信
16	伝承や遺産の継承と文献や民具等の活用
17	真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンの推進
18	イトヨの里を拠点としたイトヨを通じた環境教育の展開
19	イトヨの里館内の展示物のリニューアルやイトヨ生息地の保全
20	水文化に関する講座等の開催
21	市民参加型のイベントの開催
22	ブナの森環境保全林の適正管理と活用
23	湧水地数の把握と整理と保存
24	飲用実態のある湧水地の衛生環境の確保
25	水文化に関する伝統行事等の「おおの遺産」への登録
(3) 新たな水文化の創造に向けて	
26	市民の意識アンケートの実施
27	醸造品などの地域産品の継承や販売の促進、新たな商品開発

3. 災害や気候変動、地下水障害等への対応	
(1) 水災害に対する防止・減災対策	
1	給水施設間のループ化・給水ルートの耐震化
2	公共下水道ストックマネジメント計画に基づいた更新事業の実施
3	ため池の適正管理や耐災害性の強化の促進
4	治山施設や砂防施設の適切な維持管理・更新
5	自主防災組織の組織強化による防災力の向上
6	大野市総合防災マップ（ハザードマップ）を活用した防災力の向上
7	流域治水の推進
8	河川改修による流加能力の向上
9	九頭竜川上流ダム再生事業の推進
10	防災井戸等の設置の検討
11	災害応急用井戸の登録制度運用の検討
(2) 気候変動が水循環に与える影響の調査研究と適応策の検討	
12	気候変動が水環境に与える影響の情報収集・把握
13	ダムや河川、地下水帯の持つ機能が連携する活用策の検討
14	健全な水循環を維持するために必要となる適応策の検討
15	温室効果ガスの吸収源となる森林の保全整備
(3) 地下水障害の防止と対策	
16	地下水の消雪利用禁止の制度周知・監視と遵守
17	道路消雪施設から機械除雪への転換（再掲）
18	上水道への加入
19	砂利採取の禁止・抑制への協力の継続
20	条例による地下水採取規制の方向性の検討
21	地下水位の監視と地下水注意報・警報の発令
22	有害物質使用事業所における適正管理と地下水質の監視継続
23	有機塩素系化合物汚染の浄化対策
24	汚染状況のモニタリングの継続
25	地下水に配慮した公共事業の実施
26	誘致企業等との公害防止協定締結の推進
27	地盤沈下の定期的な監視
28	地盤沈下に関する情報発信を通じた地下水保全意識の啓発
29	井戸枯れ対応タイムラインの作成と運用
30	地下水汚染対応タイムラインの作成と運用
31	水に関するモニタリング計画の作成と運用
32	開発行為等に際しての地下水質保全指針の適切な運用
33	開発行為等に際しての地下水量確保指針の適切な運用



## ■九頭竜ダム湖の特定外来種コクチバス捕獲・駆除



### 概要

- 九頭竜ダムでは、平成19年に初めてコクチバスを確認してから現在まで生息・繁殖が確認されています。
- 効率的な駆除を目的に浅瀬にコクチバスが集まる産卵時期の6月中旬に各関係機関と共同で毎年駆除を実施しています。
- 今年は、各関係機関やボランティアの方々約30名（九頭竜川ダム統管理事務所から11名）が参加し、67匹の駆除を行いました。

【開催日時】 令和4年6月8日（水）  
 【実施場所】 福井県大野市長野（九頭竜ダム）  
 【主催】 福井県  
 【参加機関】 奥越漁業協同組合、大野市漁業協同組合、福井県内水面漁業協同組合連合会、九頭竜川ダム統管理事務所、福井県（水産課、内水面総合センター）

【駆除方法】 刺し網、釣り、水中の産卵床破壊等の方法で駆除を行いました。



■約30名が参加



■釣りによる駆除



■刺し網による駆除



■駆除状況



■【TV放映の様子】

## 概要

森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、真名川ダムおよび九頭竜ダムの見学会を開催しました。

【実施内容】 真名川ダム見学会（令和4年7月28日(木)）  
九頭竜ダム見学会（令和4年7月29日(金)）

【主催】 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会

【構成機関】 福井森林管理署／福井県／大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／大野市漁業協同組合／福井河川国道事務所／九頭竜川ダム統合管理事務所

【関連・協賛行事】 第14回もりみずカップ少年サッカー大会（令和4年6月4日(土)、5日(日)）

【事前PR】 県内を対象に、公式ツイッター、チラシ等で事前PRを実施



■公式ツイッター

■ダム見学会 広報チラシ

## ■「森と湖に親しむ旬間」協賛行事

### もりみずカップ少年サッカー大会

- 「森と湖に親しむ旬間」の協賛行事として、九頭竜川流域の市町のチームを招いて、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子ども達の心身の健全な発育を図り、相互の親善を深めるとともに、個人技術の上達を図ることを目的としています。
- 穏やかな天気の中、選手たちは懸命にボールを追い、ゴールを目指し、熱戦を繰り広げました。

- 【開催日】 令和4年6月4日(土)・5日(日)
- 【主催】 もりみずカップ実行委員会
- 【会場】 奥越ふれあい公園陸上競技場
- 【協賛】 大野市、九頭竜川ダム統合管理事務所
- 【参加数】 16チーム約300人



■市長の挨拶



■試合の様相

### ◆評価・課題等◆

この少年サッカー大会は、平成20年に「森と湖に親しむ旬間」全国行事が大野市で開催された事を記念して始ったもので、今年度で第14回大会となります。参加チーム数は昨年と同様16チームの参加がありました。

参加チーム数は16チームで継続的に実施できており、今後も上下流域チームの参加により地域間の交流につなげていきます。



## 概要

- 大野盆地を囲む山々を水源とした九頭竜川水系雲川で、自然とふれあいながら、河川の水環境を学ぶ「自然ふれあい探検隊」を大野市と共催で開催しました。
- 当日は、18名の子供達が川に入って水生生物を捕獲したり、水質調査を行い川の水環境を学習しました。
- 水難事故防止動画の視聴とライフジャケットを着用しての安全な浮き方や溪流登りを体験するなど川遊びを堪能し、夏休みの思い出づくりの貴重な場となりました。

【開催日時】 令和4年8月1日(月)  
 【会場】 麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)  
 【主催】 九頭竜川ダム統合管理事務所、大野市  
 【報道情報】 NHK ニュースザウルス 8月1日(18:00)放送  
 福井新聞、日刊県民福井いずれも8月2日掲載

### ◆参加者の声◆

- ◆友達と川で遊ぶことが楽しかった。
- ◆水質検査で、色が変わるカプセルの実験が楽しかった。
- ◆下から上に登る川遊びが楽しかったです。
- ◆川は深くなかったけど、危ないことが分かった。



■水生生物の説明



■水生生物を捕獲



■水生生物を指標に水質調査



■パケットによる水質調査



■安全な浮き方の体験



■溪流のぼり体験

# ■第19回身近な水環境の全国一斉調査



## 概要

- 近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まり、平成16年度より毎年、世界環境デー(6月5日)に最も近い日曜日を中心に「身近な水環境全国一斉調査」として、全国各地において水質調査が行われています。
- 大野市は、地下水を飲料用などの生活用水として利用していることから積極的に水質調査を実施しており、第1回水環境の全国一斉調査から参加している全国でも貴重な団体です。今年は、18名の参加者が、九頭竜川流域の真名川、清滝川、赤根川、木瓜川、善導寺川に分かれて水質調査を実施し、どの河川も良好な水質環境であることが確認できました。

【開催日時】 令和4年6月12日(日) 8:00~12:00  
 【主催】 大野の水環境ネットワーク  
 【調査河川】 真名川、清滝川、赤根川、木瓜川、善導寺川  
 【調査内容】 気温、水温、透視度、PH、電気伝導度、CODを計測

- 【調査対象】  
 ①気温、②水温  
 ③透視度・・・水の濁りを表す指数  
 ※数値が大きいほど綺麗な水を表す(MAX130cm)  
 ④PH(水素イオン濃度)  
 7より小さい(酸性)、7付近(中性)、7より大きい(アルカリ性)  
 ⑤電気伝導度  
 電気の通りやすさを表す指数。水質変化のモニタリング等に利用。  
 ※一般的に、地下水30~500μS/cm、河川水30~400μS/cm  
 ⑥COD(科学酸素要求量)  
 水中に含まれる有機物による汚濁を測る指標  
 ※値が0に近いほど綺麗な水を表す。  
 ⑦河川の様子

調査河川	調査日時	調査者	気温	水温	透視度	PH	電気伝導度	COD	河川様子
真名川	6/12	...	...	...	...	...	...	...	...
清滝川	6/12	...	...	...	...	...	...	...	...
赤根川	6/12	...	...	...	...	...	...	...	...
木瓜川	6/12	...	...	...	...	...	...	...	...
善導寺川	6/12	...	...	...	...	...	...	...	...

■調査結果



■参加者



■採水



■透明度の計測



■PH、電気伝導度の計測

# ■パネル展示(新緑まつり、紅葉まつり)



## 新緑まつり・紅葉まつりでの九頭竜川ダム統合管理事務所の取り組み

九頭竜ダム・真名川ダム建設の契機となる災害やダム建設当時の紹介、ダムの役割や必要性を再認識して頂くための取り組みとしてパネル展を行いました。

また、九頭竜ダム湖に流れ着いた流木の無料配布では、子供からお年寄りまで年代を問わず多くの方が集まり、準備した流木をほぼ持ち帰りになるなど、大好評のうちに2日間を終えることが出来ました。



■パネル内容の閲覧

■流木の無料配布

第33回新緑まつり (令和元年5月18・19日)



■パネル内容の閲覧・説明

■流木の無料配布

第43回紅葉まつり (令和4年10月29・30日)

### ◆評価・課題等◆

近年頻発している風水害への関心が益々高まっていると感じられ、展示パネルの説明を興味深く真剣に聞き入る方が見られます。ダムの役割や必要性を再認識して頂くとともに、防災・減災への意識の向上を図ることができ、継続して実施していく予定です。

# ■ダム湖周辺の紅葉情報提供



## 概要

- 真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページ及びツイッターに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年に引き続いて実施しました。
- 紅葉の時期には、大野市公式HPからもリンクされています。

【期間】 令4元年10月18日(火)～11月22日(火)

【URL】 九頭竜川ダム統合管理事務所  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>



■ツイッターでの情報提供

## 真名川ダム(麻那姫湖)周辺



調査地点	作成日					
	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日	11月15日	11月22日
真名川ダム周辺	緑	黄	黄	黄	黄	黄
麻那姫湖中流部(若生子大橋)	緑	黄	黄	黄	黄	黄
麻那姫湖上流部	緑	黄	黄	黄	黄	黄
中島公園周辺	黄	黄	黄	黄	黄	黄
豊川・若生川	黄	黄	黄	黄	黄	黄

色	色の説明
緑	青葉
黄	一部紅葉
赤	見頃
紫	一部落葉
白	全落葉



■真名川ダム周辺(下流部)



■麻那姫湖中流部(若生子大橋から下流撮影)



■真名川ダム周辺の調査地点

1. 流域マネジメントの推進

9. 真名川における自然出水再現放流の実施

～九頭竜川ダム統合管理事務所～

真名川ダムでは、出水期に洪水調節容量の一部を有効活用して、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で流水を貯留し、春先に放流（フラッシュ放流）することで、ダム下流の河川環境改善を図ります。（ダムの弾力的管理）

また、弾力的管理により洪水調節容量に貯留した流水は、水力発電による放流で貯水位を低下させ、再生可能エネルギーの創出にも最大限活用します。

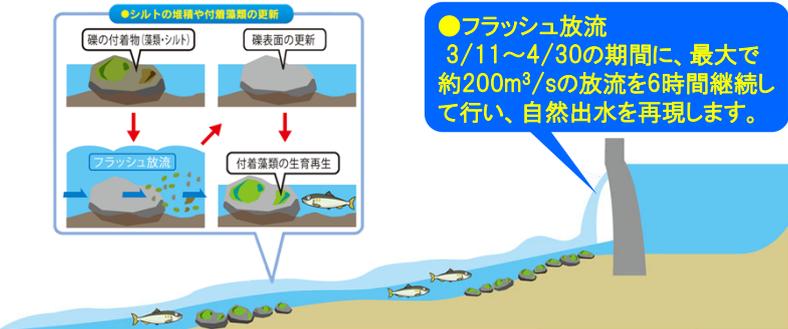
実施概要

- 放流日時
  - 放流日時：令和5年3月14日（火）7時～18時
  - 放流量：11時頃に最大放流量 毎秒200立方メートルに到達。  
以降、毎秒200立方メートルを6時間継続し、放流を終了。
- 真名川の水位への影響
  - 佐開橋（大野市五条方、ダム下流約4km付近）では、  
12時頃に最大1.85m(0.22m→2.07m)水位が上昇しました。
  - 富田大橋（大野市中保、ダム下流約10.5km付近）では、  
17時頃に最大1.77m(1.27m→3.04m)水位が上昇しました。
- 河川環境改善の効果（検証中）
  - 主なモニタリング調査（河床材料の粒度分布、付着藻類相やシルト堆積、魚類の個体数、底生生物、植生の分布状況 等）

【位置図】



●河川環境の保全  
流量に変動を与えることで、ダム下流の河川では、礫に堆積したシルトや付着藻類を更新します。



【真名川ダム放流の様子】



【佐開橋（放流時）】



【佐開橋（放流後）】



【礫（川石）の状況】



フラッシュ放流により、古い藻類やシルトなどの付着物が洗い流されました。

【富田大橋（放流時）】



【富田大橋（放流後）】



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
九頭竜川ダム統合管理事務所

〒912-0021  
福井県大野市中野29-28  
管理課 TEL:(0779)66-5300(代)

